

Chemical Bonds 支部／教育・普及部門だより

クイズショー小委員会発

はまぎん こども宇宙科学館 なぜナニ化学クイズショー

口絵 34 参照

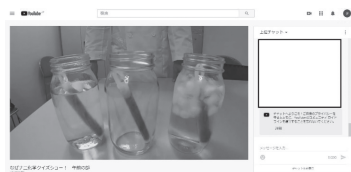
8月10日(月),『なぜナニ化学クイズショー!』を横浜市磯子区の「はまぎん こども宇宙科学館」にて開催いたしました。今回の化学クイズショーは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、はまぎん こども宇宙科学館のサポートを受けてYouTube Live形式で行いました。1時間の講演を午前と午後2回行いました。化学クイズショーへの参加には、事前にホームページ(はまぎん こども宇宙科学館HP)から申し込むことで視聴用のアドレスが送られます。今回の視聴者は2回合わせて97名であり、夏休みに外出できない子供たちにとって化学の楽しみを伝えられたのではないかと思います。

YouTube Liveによるオンライン配信ではスタジオでの実験は基本的には行いません。実験動画を事前に撮影し、適宜動画を挿入することで行います。実験動画の作成は、従来の対面式とは異なり



YouTube Live 配信中の風景

スマートフォン等の小さな画面でも良く分かるように撮影方法を工夫する必要があります。開成中学校・高等学校 宮本一弘先生、逗子開成中学校・高等学校 岩井秀人先生、東京都立つばさ総合高等学校 鈴木孝雄先生の3名は工夫をしながら実験動画を作成しました。



視聴者による YouTube Live 画面例

YouTube Live当日は当小委員会 内藤卓哉 委員が司会となってスタジオと自宅の子供たちを繋ぎました。ライブ画面右側のコメント欄(写真では非表示)には参加者からの感想がリアルタイムで表示されます。「おお〜」「え、なぜ?」など子供たちの素直な感想、驚きが出演者にも伝わり、司会はそれを受けて子供たちに回答をしたり、質問を投げかけたりもしていました。

化学クイズショーは子供たちを集めて行う実験ショーのため、今後も対面式での実施は困難と考えます。一方、オンラインでの実験は場所を選ばず全国津々浦々に化学実験の楽しさを伝えられる、と言ったメリットもあります。クイズショー小委員会では新たな形のイベントをこれからも模索していくつもりです。(遠山岳史 日本大学理工学部教授)

中国四国支部発

令和2年度高校・大学化学教育フォーラム広島

令和2年8月29日(土)に、広島大学東千田キャンパスにおきまして、日本化学会中国四国支部・主催、広島県教育委員会および広島県高等学校教育研究会理科部会物化部・後援の令和2年度高校・大学化学教育フォーラム広島が開催されました。本事業は、高校・大学の教員が化学教育に関する話題を持ち寄り、高校生に興味を高める工夫や社会とのつながりを認識してもらう方法などを議論することを目的として、毎年8月末ごろの土曜日に開催されています。今年も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催が見送られるのではないかと不安をかかえていましたが、参加者数も昨年度よりも多い14名(大学8名、高校6名)と盛況な会を実施することができました。

今年度のフォーラムでは、「化学教育における遠隔授業の取組事例と入試改革への対策」というテーマのもと、広島県立広島国泰寺高等学校の檜山由美子先生と広島県立広

島商業高等学校の福本年紘先生により「高校化学での遠隔授業の実践の状況(コロナウイルス対策にて)」、広島大学高大接続・入試センターの永田純一センター長より「高校と大学のカリキュラム接続と大学入試改革のゆくえ」という題目でそれぞれご講演を賜りました。



いずれのテーマも今まさにホットな話題であったことから、参加された方々にも大いに興味を持って聴講していただけていました。先生方のご講演の後に開催した「総合討論」の場でも、講師の先生を交え参加者の皆様と、高校・大学におけるオンライン授業の工夫点を紹介しあったり、国際バカロレア(IB)に関する各国の取り組み事例について討論する等、今回のフォーラムテーマに関する白熱した議論が行われました。

(今榮一郎 広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授)